



フォーラム通信

2025

Newsletter

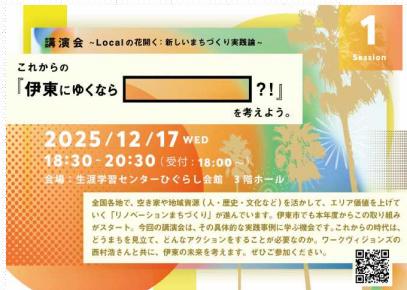
12

Topics

リノベーションまちづくりの講演会を開催。講師が「選ばれるまちになる」必要性を訴える

地域住民向けのリノベーションまちづくり講演会を伊東市で開催し、市民らおよそ70人が参加しました。

講師には、建築設計業のかたわら地元の佐賀市で家守として活動するワークヴィジョンズ・西村浩氏を招き「これからの中伊東にゆくなら口?!」を考えようをテーマに講演いただきました。



西村氏はこれまでのまちづくりについて、「ビルや家を多く建て、市街地を拡げていくのがまちづくり。土地こそ未来、価値だった」とした上で、人口減少によるコンパクト化の影響等で、同じやり方はもう成り立たないと説明。

その上で、今後のまちづくりについて「他地域との違い・良さを磨き、『選ばれるまち』になる必要がある」「土地ではなく、選ばれる『エリア』にこそ価値がある」と論じました。



また、地方都市の現状について、「人口減少によって土地の収益力が激減、路線価や固定資産税が減り、市民サービスの低下・空き家増加に至るという負のスパイラルに陥っている」と分析した上で、「それを断ち切るのがリノベーションまちづくり。面白い人たちが集まってエリアを変えていくことで、暮らしの質が向上する。そうすると経済活動が強化されたり、空き家活用がどんどん進む『好循環』となり、エリア価値が高まることで、家賃の上昇や、外部からの投資を期待できるまちになる」と語り、リノベーションまちづくりに取り組む民間のメリットを語りました。

その上で、地元・佐賀で「商店街に広場があったら面白い」「子どもが来る場所になれば雰囲気が変わる」と先に思い描き、一つずつ実現していったことで、暗い商店街から親子が来る人気のエリアに変わった事例を挙げ、「まずは伊東がこうなったら面白くなると妄想して欲しい。その後で、それを実現する方法を考えて欲しい。」と伝えました。